

1歳未満の乳児に



はちみつを与えないで

東京都内で、乳児に対し、離乳食としてジュースに“はちみつ”を混ぜて与えたことによる乳児ボツリヌス症による死亡事例が発生しました。



1歳以上の方がはちみつを摂取しても、ボツリヌス症の発症はありません。

はちみつ自体は、リスクの高い食品ではありません。

- 乳児ボツリヌス症は1歳未満の乳児に特有の病気です。
- 乳児の腸内細菌が成人と異なるために起こる病気です。
- ボツリヌス菌の芽胞※は、熱に強く、100℃程度では長い時間加熱しても殺菌できません。



乳児ボツリヌス症とは？

症状

便秘、筋力の低下、泣き声が小さくなるなど

原因食品

主な原因食品は、はちみつ。
はちみつ以外、原因食品が確認された事例はほとんどない



予防方法

1歳未満の乳児には、ボツリヌス菌の芽胞[※]に汚染される可能性のある食品（はちみつなど）を食べさせない。

ボツリヌス菌

- ボツリヌス菌は、土や海、川などの泥砂中に分布
- 酸素の少ない環境を好む菌で、芽胞[※]を作る

「芽胞」とは？

ボツリヌス菌の芽胞は熱に強く、低酸素状態に置くと増殖しボツリヌス毒素を産生する。

芽胞を死滅させるには120℃4分以上の加熱殺菌が必要